

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

本校のアイヌ文化学習では、「自然、命を大切に作る心、生き方を学ぶ」ことを全体の目標としています。全学年を通して系統的に学習していくことにより、子どもたちは、アイヌ文化を自然に受け入れ体験していくことになります。子ども達はアイヌ文化の伝統文化を楽しんで体験していく中で、自然の一部である人間が、自然と共生しつつ持続可能な社会を作っていかなければならないことを学んでいくのです。

【各学年のねらい】

1年生～学校のチセを探検しながら、アイヌ文化学習の見通しを持つことができる。また、アイヌの人たちについて知り、遊びや歌、踊りを通して、表現することの喜びを持つ。

2年生～身近にある自然物を使ってアイヌの遊び道具を作り、みんなで楽しく遊ぶことができる。
アイヌの歌や踊りを知り、表現することに喜びを持つことができる

3年生～サケ漁などの体験を通してアイヌの人たちのくらしの工夫や苦労がわかる。

4年生～昔のアイヌの人々が食べていたものを再現し、当時の様子を考えながら、イナキビを栽培し、イナキビ団を作るができる。

5年生～地域の自然を素材とし、伝統的な技術の生かされた生活用具などを作るにより、アイヌの人たちの知恵や工夫を感じることができる。

6年生～ムックリ作りやアイヌ民族の歴史学習を通して、アイヌの人々の様子がわかる。6年間の学習をまとめることができる。

【各学年の学習内容】

1年生～10時間

チセ探検、アイヌの歌（ウポポ）、遊び（チレクトトプ）、絵本の読み聞かせ

2年生～10時間

アイヌの踊り（ホリッパ）、遊び（ク・アイ、カリプ）と遊び道具作り

3年生～20時間

アイヌ語地名とくらし、サケ漁、サケの解体、アイヌのサケ料理

4年生～20時間

アイヌの保存食、イナキビ、アハ栽培・収穫、イナキビ団子作り

5年生～20時間

シナノキの皮剥ぎ、シナノキの皮でひも作りとひもを作った飾り作り、イナウ削り

6年生～20時間

修学旅行先ポロトコタンで調べ学習、ムックリ作りと演奏、アイヌ
民族の歴史

平成25年度は他に6月の運動会で全校児童、保護者、地域の方が一緒になり、アイヌ民族の古式舞踊である『ホリッパ』を踊ったり、12月には6年生がアイヌ文様の刺繍を学び、コースターを作りました。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()